



## 「防災塾・だるま」2022年度 第14回通常総会 議案書

◆日時：2022年 5月 26日(金) 13時 30分～16時 45分

通常総会 13:30～14:30

基調講演 15:00～16:15

サロン顔合わせ 16:15～16:45

◆会場等：さくらリビング 第一研修室(会場)及びオンライン方式との併用開催

〈議事次第〉

(総合司会 山田美智子 副塾長)

1. 開会の挨拶

塾長 鷺山龍太郎

2. 報告 (出席者確認 田中喜世美 理事)

・会員状況について・・・2022年3月31日現在:正会員( )名

・規約第8条2項の規定により、議決は正会員出席者の過半数をもって決する。

\*出席者=会場参加+オンライン参加

3. 議長及び書記の選出 (議長:樋口 書記:増田)

4. 議事

第1号議案:2021年度活動報告

・・・担当 山田美智子 副塾長

第2号議案:2021年度決算報告及び会計監査・・・担当

・・・担当 早川 雅子 理事

・・・担当 高橋 徳美 監事

第3号議案:「防災塾・だるま」規約改訂(案)

・・・担当 鷺山龍太郎 塾長

第4号議案:2022年度活動計画(案)

・・・担当 鷺山龍太郎 塾長

第5号議案:2022年度収支予算(案)

・・・担当 早川 雅子 理事

第6号議案:「防災塾・だるま」第14期役員(案)

・・・担当 山田美智子 副塾長

5. 2022年度「防災塾・だるま」役員活動計画について

鷺山龍太郎 塾長

6. 名誉塾長挨拶

荏本孝久 名誉塾長

## 【第1号議案】 防災塾・だるま2021年度活動報告

### 1 2021年度重点テーマと重点取組項目及び取組方針

2021年度 テーマ	災害克服に向けて実現したい自助・共助・公助連携・新課題対応力の抜本的強化 ～東日本大震災10年、阪神淡路大震災四半世紀、関東大震災百年、最近の風水害や複合災害の教訓は生かされ、対策は実現されているか？新たな災害課題も視野に、自助、共助、公助統合による防災・減災力の抜本的改善強化を展望する～
---------------	--

### 2 防災塾・だるま防災サロン活動(活動履歴詳細はHP「サロン打合せ履歴」)

2021年度は4つの防災サロンを設定し、これをもとに協議研究するとともに、「防災まちづくり談義の会」はサロン主催で開催する体制で推進した。

防災サロン	テーマ	アクションプラン	担当
A 自助力 向上サロン	自分の命は自分で守れるように、基礎的な防災知識と技をわかりやすくまとめる。	『自助の取り組み例』を検証し、より優先順位をつけて、分かりやすい資料を作成。	◎田中栄 ○長嶋
B 共助力 向上サロン	平常時 発災時 避難所運営に関する実践に役立つ共助の取り組みの構築を目指す。	各メンバーが自分の地域の状況を発表して、共通に利用できかつ地域の特性やリスクを反映したマニュアルを作成し、訓練を実施する。」	◎山田 ○増田
C 公助連携力 向上サロン	自助・共助・公助の統合構想 自助力・共助力、公助力連携による「防災まちづくり」推進体制の再構築。法律・条例改訂への提言検討。	災害への脆弱性となる「地域社会の様々な乖離」の克服。自助力、共助力を向上させるために、公助との連携構造を抜本的に検討。法律、条例等によるルール化も視野に。	◎鷺山 ○田中喜
D 時事防災 課題サロン	パンデミック・温暖化等地球規模の課題を研究し、解決(SDGs)に向けた提言を目指す。	SDGsの観点で、各人が Specialty・知見を活かしながら、テーマの抽出と検討を行い、解決・発信すべき事項を探し出す。	◎樋口 ○吉開

### 3 2021年度取組事業

項目(規約より)	取組事業担当)
調査研究・提言 意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>自助、共助、公助連携、新課題の4観点と相互の関連を分析し、だるまとしての総合化を提言。</li> <li>4サロンによる個別責任運営と、学び、発信、ネットワーク構築の場としての「防災まちづくり談義の会」</li> <li>ファシリテーションの理念と技法を「防災まちづくり」推進のツールとして防災塾・だるま運営にも活用。</li> </ul>
地域・他機関との 連携活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPによる発信、J-DAG(片山・田中栄) 防災まちづくり養成講座(高松 荏本 鷺山)</li> <li>神奈川大学大規模災害対策連続講座への協力(荏本・鷺山)</li> <li>他機関支援・共催するかながわ人と智や地域の防災・減災活動との連携(荏本 鷺山 山田 杉原)</li> </ul>
会員間の連携と 組織強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>HP 発信の充実(樋口・増田)、オンライン環境向上、便りの発行等の情報共有検討。(鷺山)</li> <li>会員がそれぞれの特徴を活かし、会員を増やす方策、特に若い人を糾合する企画の検討。</li> </ul>

#### 4 2021年度年間活動実績

月	日時	定例会・理事会等	「防災塾・だるま」活動内容	担当
4月	16日 (金)	防災まちづくり談義の会 定例会 防災サロン	第180回談義の会 「日本列島の誕生と自然災害の理解」 講師:鷺山龍太郎氏 防災塾だるま副塾長 総会資料確認 参加者 25名:会場参加 20名、Zoom 参加 5名	山田 鷺山
5月	27日 (金)	談義の会 総会 防災サロン	第181回談義の会 「神奈川県大地の誕生と自然災害の理解」 講師:鷺山龍太郎氏 防災塾だるま副塾長 参加者 29名:会場参加 20名 Zoom 参加 9名	理事会
6月		理事会	白山見学会	D サロン
7月	27日 (火)	定例会 談義の会 防災サロン	Cサロン「公助連携力向上」主催 第182回談義の会 「災害を克服できる防災まちづくり・防災教育の未来像を考える」 特別ゲスト講師:小さな命を考える会代表 佐藤敏郎氏 参加 33名 (会場 20名(内一般2名)、ZOOM:13名)	D サロン
8月	19日 (木)	理事会	荏本先生退任記念講演会 骨子検討	Cサロン
9月	17日 (金)	定例会 談義の会 防災サロン	Aサロン「自助力向上」主催 第183回談義の会 「震度 6 強の首都直下地震に備えるための耐震化推進」講師: 田中栄治氏 防災塾だるま副塾長 参加 23名 (会場 20名(内一般名)、ZOOM: 3名)	Cサロン
10月	21日 (木)	理事会	「荏本孝久先生退任記念誌」編集委員会設置 委員長 田中晃氏	Aサロン
11月	26日 (金)	定例会 談義の会 防災サロン	Bサロン「共助力向上」主催 第184回談義の会 「境目のない自助・共助の地域防災の構築を目指して」講師: 垣中祐二氏 北綱島小学校地域防災拠点運営委員会 副委員長 参加 28名 (会場 22名(会員20名)、ZOOM: 6名)	Aサロン
12月	16日 (木)	理事会		
12月	17日 (金)	荏本先生記念講演 懇親会	荏本先生記念講演・座談会 参加 27名  だるまカレンダー配布 ( )部	
1月	20日 (木)	理事会		
2月	18日 (金)	定例会 談義の会 防災サロン	Dサロン「時事防災問題サロン」主催 第185回談義の会 「総合治水から流域治水へ」 講師:櫛原賢二氏 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 事業対策官 参加者:25名 (会場 18名(会員 18名)、ZOOM:5名、講師 2名) ◎「荏本先生塾長退任記念誌」500部発行	Bサロン
3月	17日 (木)	理事会	2022年度総会議案書検討	
4月	21日 (木) 29日 (金)	理事会	2022年度総会議案書検討	

第2号議案

令和4年3月31日

2021年度「防災塾・だるま」決算報告書

単位 円

収入の部	金 額		支出の部	金 額	
	2021年度予算	2021年度決算		2021年度予算	2021年度決算
前年度繰越金	324,007	324,007	主催事業	140,000	61,471
会費収入合計	82,000	83,000	定例・談義の会	40,000	27,000
2019年度会費	0	0	被災地から学ぶ・支援	20,000	7,610
2020年度会費	2,000	3,000			
2021年度会費	50,000	36,000	その他主催事業	60,000	26,861
2022年度会費	30,000	37,000	協働事業	15,000	10,000
2023年度会費	0	4,000	防災ギャザリング	10,000	10,000
2024年度会費	0	3,000	エクステンション講座	10,000	0
			JDAG等防災ゲーム	5,000	0
			その他協働事業	5,000	0
			協力事業	15,000	8,000
協力事業	5,000	0	その他協力事業	10,000	0
			J-DAG	5,000	8,000
			事務費	140,610	129,140
寄付金	10,000	81,401	オンライン会議費用	22,110	22,110
			広報活動費(チラシ)	5,000	0
			カレンダー制作	8,500	4,845
			ホームページ作成費用	16,000	22,818
資料代	6,000	14,900	会議費(活動支援費)	30,000	22,300
			備品購入費	0	0
			文房具他事務経費	40,000	44,954
			郵送費	10,000	6,718
			その他	6,000	4,665
			雑費	3,000	730
郵送分収入	4,000	2,000			
利息	2	2	予備費	105,399	32,400
			次年度繰越		264,299
合 計	431,000	505,310	合 計	431,009	505,310

関係帳票及び 預金通帳を確認したところ上記の通り収支は正確でであり適正に執行されていることを認めました。

2022年 5月 7 日

高橋 徳美



## 【第 3 号議案】 「防災塾・だるま規約」改訂について(案)

「防災塾・だるま」規約(令和4年度改定案) 下線:改訂案部分

(名 称)

第1条 この会は、「防災塾・だるま」(以下「本会」という)と称する。

(事務局)

第2条 本会の事務局を塾長宅に置く。

(目 的)

第3条 本会は、あらゆる防災活動を通じて会員相互の防災力向上を図るとともに、防災に関わる情報共有化のためのネットワークを構築し、地域社会の防災まちづくりに貢献することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 防災まちづくりに関する情報の収集及び調査研究
- (2) 会員相互の防災まちづくりに関する知識向上のための情報交換会又は意見交換会の開催
- (3) 防災まちづくりに関する講座またはイベント等の開催
- (4) 他の機関・団体等の防災まちづくりに関する講座やイベント等への支援、又は共同企画並びに運営等
- (5) 防災まちづくりに関する調査研究結果等の地域及び行政等への提言
- (6) その他、本会の目的達成のために必要な事項

(会員の種類及び資格)

第5条 本会の会員は、次の2種とする。

- (1)正会員 機関・団体又は地域等で防災まちづくりに関する調査・研究或いは実践活動をしている者、若しくは防災まちづくりに関する意識と興味を持ち、今後防災まちづくり活動を実践しようとする者で、本会の趣旨に賛同して入会した個人。
- (2)賛助会員 本会の趣旨に賛同し、活動を支援するために入会した個人及び団体。

(会 費)

第6条 会員は、次に定める年会費を年度初めに納入しなければならない。

正会員	1,000 円
郵送会員	3,000 円(郵送費用含む)
学生会員	免除
賛助会員	一口:5,000 円(一口以上)

2. 退会の場合、既納の会費は返金しない。
3. 年会費の滞納が1会計年度以上滞った場合は、で、督促を行った上で滞納が続いた場合は、退会の意思表示とみなす。

(役員等と任期)

第7条 本会を円滑に運営するため、次の役員を置く。

- (1) 名誉塾長 1名
- (2) 塾長 1名
- (3) 副塾長 5名以内
- (4) 会計 2名以内
- (5) 総務 2名以内
- (6) 理事 20名以内(塾長・副塾長・会計・総務を含む)
- (7) 監査 2名以内

2. 役員会の議決権は理事にある。
3. 理事、監査の選出は、会員の互選とする。
4. 塾長、副塾長、ほか理事の役職は理事の互選とする。
5. 理事・監査の任期は2年とし、再任は妨げない。
6. 本会が必要とする助言及び相談を受けるため、名誉塾長、顧問及び相談役を置くことができる。
7. 名誉塾長・顧問・相談役の任期は特に定めない。

(役員等の職務)

第8条 役員職務

- (1) 塾長 本会を代表し、会務を総理する。
  - (2) 副塾長 塾長を補佐し、塾長に事故あるときは代行する。
  - (3) 会計 会計事務および資産の管理。
  - (4) 総務 会員管理および各種活動の庶務的対応等。
  - (5) 理事 理事は本会運営推進に参画する。
  - (6) 監査 会計、資産状況、及び業務を監査する。
2. 名誉塾長・顧問・相談役の業務
- (1) 名誉塾長 本会設立の理念を代表し、本会の運営の助言・提言・支援を行う。
  - (2) 顧問 本会の求めに応じて、役員会に出席し助言・提言を行う。
  - (3) 相談役 必要に応じて、役員会に出席し助言・提言を行う。

(会議等)

第9条 本会は、総会、役員会、定例会、その他必要な会議を行う。

2. 総会は、年度当初の2ヶ月以内に開催し、下記の主要事項について審議し、議決が必要な事項に

については正会員出席者の過半数をもって決する。

(1) 規約の変更

(2) 活動報告及び収支決算

(3) 活動計画および収支予算

(4) 役員の選出

(5) その他の重要事項

3. 役員会は、総会付議事項、定例会付議事項などについて協議すると共に、本規約に定めのない事項について審議する。また、必要に応じて顧問及び相談役の参加を求め、助言を受けたり、相談したりすることができる。

4. 定例会は、会員相互の情報の共有・意見交換を行うため、原則として隔月に行う。また、総会の議決事項以外で議決が必要な事項は、定例会で審議し正会員出席者の過半数をもって決する。

5. その他必要な会議は、議決権はないが、随時行うことができる。

6. 塾長は、必要に応じて臨時の総会を招集することができる。

(その他)

第10条 本会の運営経費は会費、事業収入、補助金並びに寄付金等をもってこれに充てる。

2. 本会の事業年度及び会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間とする。

附則

本規約は、平成18年8月1日から施行する。

本規約の改定は、平成22年4月1日から施行する。

本規約の改定は、平成23年4月22日から施行する。

本規約の改定は、平成25年4月26日から施行する。

本規約の改定は、令和3年5月28日から施行する。

本規約の改定は、令和4年5月26日から施行する。

## 【第4号議案】2022年度「防災塾・だるま」活動計画(案)

### 1 目的及び事業(規約より)

目的	1 あらゆる防災活動を通じて会員相互の防災力向上を図る。 2 防災に関わる情報共有化のためのネットワークを構築する。 3 地域社会の防災まちづくりに貢献する。
事業	(1) 防災まちづくりに関する情報の収集及び調査研究 (2) 会員相互の防災まちづくりに関する知識向上のための情報交換会又は意見交換会の開催 (3) 防災まちづくりに関する講座またはイベント等の開催 (4) 他の機関・団体等の防災まちづくりに関する講座やイベント等への支援、又は共同企画並びに運営等 (5) 防災まちづくりに関する調査研究結果等の地域及び行政等への提言 (6) その他、本会の目的達成のために必要な事項

### 2 これまでの成果と課題および本年度の重点取組課題

成果	(1) 180回を超える「防災まちづくり談義の会」の開催による広範な防災知識の共有と発信。 (2) 市民、研究者、行政、政治、学校関係等との広範な人的ネットワークの構築。 (3) 多様な組織との連携や支援活動の積み上げ。 (4) 2021年度は、サロン主体による談義の会等運営体制が確立。会員の参画と交流が活性化した。年間計画に基づいた運営ができた。
課題	(1) 地域社会(地区)における、自助、共助の未熟と脆弱性。それを支援すべき公助側の縦割りによる連携不足。自助、共助に手を差し伸べる支援と連携不足状況を改善するための、具体的啓発や提言。 (2) コロナ禍や高齢化によるオンラインやスマホ化への遅れ、会員の情報交換や会議参加者の減少。 (3) 「阪神淡路大震災四半世紀」をテーマに年間活動計画を立てたが、災害状況もあり、計画と異なった。 (4) 2021年度はサロン運営に伴う、サロンからの発信の機会の確保、外部講師からの「傾聴」との両立が課題。 (5) 本会の原点で、談義の会との両輪とされる、「養成講座」へのサロンの参画は初年度のため行わなかったが、外部講師からの傾聴とともに、2022年度は本会の提案を発信啓発する場としても、取組みたい。

### 3 2022年度重点テーマと重点取組項目及び取組方針

2022年度 テーマ	災害の被害想定を見直し、自助・共助・公助連携・新課題に対応できる「防災まちづくり」の推進 ～関東大震災100年、阪神淡路大震災28年、東日本大震災11年、最近の風水害や複合災害の教訓は生かされ、対策は実現されているか？新たな災害課題も視野に、自助、共助、公助統合による防災・減災力の抜本的改善強化で防災まちづくりを展望する～
---------------	---

### 4 防災塾・だるまサロン活動方針

- ① 基本的に4サロン体制を継続。自助・共助・連携・時事ベースに名称・テーマは各サロンで工夫・検討する。
- ② 定例会と談義の会は同日開催とするが、サロンは別日開催(理事会の日など)で感想と打合せ程度。
- ③ 「談義の会」講師は、サロン名称にかかわらず、サロンの目的意識から自由選択提案。
- ④ サロンも、本会として共有する「提言」を立案し、提案協議して「防災塾・だるま提言」を提案できる。
- ⑤ サロンの研究成果や実践を踏まえて、参加者に情報や体験を提供する「養成講座」を目指す。

### 5 取組事業と検討課題

項目(規約より)	取組事業・検討課題(担当)
調査研究・提言 意見交換	・自助、共助、公助連携、新課題の4観点と相互の関連を分析し、だるまとしての総合化を提言。 ・4サロンによる個別責任運営と、学び、発信、ネットワーク構築の場としての「防災まちづくり談義の会」 ・ファシリテーションの理念と技法を「防災まちづくり」推進のツールとして防災塾・だるま運営にも活用。
地域・他機関と	・HPによる発信、J-DAG(片山・田中栄)



の連携活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」(鷺山 高松 山田 荏本 )</li> <li>・神奈川大学周辺地域防災との連携・支援。(MM 地区も視野に)</li> <li>・他機関支援・共催する「かながわ人と智」や「大井町防災まちづくりの会」「平塚防災まちづくりの会」等の地域の防災・減災活動との連携(荏本 鷺山 山田 杉原)</li> <li>・「防災塾・だるま」カレンダーの作成と配布(行政と市民との交流促進)</li> </ul>
会員間の連携と組織強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HP、ML発信の充実(樋口・増田)</li> <li>・オンライン環境向上、便りの発行等の情報共有検討。(鷺山)</li> <li>・会員がそれぞれの特徴を活かし、会員を増やす方策、特に若い人を招致する企画の検討。</li> </ul>

## 6 2022年度年間活動予定表

月	日時	定例会・理事会 談義の会・防災サロン	活動内容	定例会・理事会 議事担当
5月	26日 (木)	講演会(186回談義の会) 総会 防災サロン打合せ	記念講演 東京大学 加藤孝明先生 (交渉中) サロン別顔合わせ協議	理事会
6月	16日 (木)	役員会 13:00 防災サロン 15:00 (サロンごとに別日開催可)	防災サロン	D サロン
7月	22日 (金)	定例会 13:30 第187回 防災まちづくり 談義の会 防災サロン打合せ	Cサロン主催談義の会 14日城西大学 J-DAG	D サロン
8月	18日 (木)	役員会 13:00 防災サロン 15:00	防災サロン(21年度発表会養成講座具体案) 6日 建築士会防災イベント支援	Cサロン
9月	16日 (金)	定例会 13:30 第188回 防災まちづくり 談義の会15:00 防災サロン打合せ	A「自助力」向上主催 防災まちづくり談義の会 関東大震災100年イベント 準備開始	Cサロン
10月	21日 (木)	役員会 13:00 防災サロン 15:00	防災サロン 実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座 (各サロンからの講座) MM21 地区防災まちづくりイベント準備開始 防災ギャリング 10月29日	Aサロン
11月	25日 (金)	定例会 13:30 第189回 防災まちづくり 談義の会 15:00 防災サロン打合せ	B「共助力」向上主催 談義の会	Aサロン
12月	15日 (木)	防災サロン発表会 忘年会	防災サロン発表会	Bサロン
12月	22日 (木)	役員会 13:00	☆3 被災地見学(感染拡大状況により)	
1月	17日 (金)	定例会 13:30 第190回防災まちづくり談 義の会 15:00 防災サロン打合せ	Dサロン「時事防災課題」談義の会主催 本年度評価 次年度アクション・談義の会計画	Bサロン
2月	16日 (木)	役員会 防災サロン協議会	防災サロン協議会	
3月	20日 (木)	役員会 13:30		
4月	26日 (金)	役員会 13:30		

【第 5 号議案】 2022年度収支予算について(案)

第5号議案

2022年度「防災塾・だるま」予算(案)

単位 円

収入の部	金額		支出の部	金額	
	21年実績	22年予算		21年実績	22年予算
前年度繰越金	324,007	264,299	主催事業	61,471	105,000
会費収入合計	83,000	63,000	定例・談義の会	27,000	40,000
2020会費収入	3,000	0	被災地から学ぶ・支援	7,610	20,000
2021会費収入	36,000	3,000	サロン4G	0	5,000
2022会費収入	37,000	30,000	その他主催事業	26,861	40,000
2023会費納入	4,000	30,000	協働事業	10,000	30,000
2024会費納入	3,000	0	防災ギャザリング	10,000	10,000
			エクステンション講座	0	5,000
			J=DAG等防災ゲーム	0	5,000
賛助会員	0	0	その他協働事業	0	10,000
協力事業	0	10,000	協力事業	8,000	10,000
J-DAG	0	10,000	J=DAG等	8,000	10,000
			その他協力事業	0	0
			事務費	129,140	145,110
			広報活動費(チラシ)	0	5,000
			カレンダー制作費	4,845	5,000
			ホームページ作成費用	22,818	10,000
			会議費(活動支援費)	22,300	30,000
寄付金	81,401	10,000	文具他事務経費	44,954	55,000
			郵送費	6,718	10,000
資料代	14,900	10,000	手数料	4,665	5,000
			雑費	730	3,000
			オンライン会議費用	22,110	22,110
郵送分収入	2,000	4,000			
利息	2	2	予備費	32,400	71,191
			次年度繰越金	264,299	
合計	505,310	361,301	合計	505,310	361,301

【第6号議案】 2022年度役員について(本年度は規約上、2年毎の改選の年に当たらない。)

「防災塾・だるま」第13期役員名簿(案)

任期:2021年総会～2023年総会

役員名簿改定(案)

役職		氏名	退任役員	
役員	理事	塾長(代表理事)<1名>	鷺山龍太郎 (留任)	
		副塾長 <5名以内>	山田美智子 (留任)	片山 晋(退任) 田中栄治(退任)
			高松 清美 (留任)	
			樋口 誠 (留任)	
			早川 雅子 (新任)	
	会計 <2名以内>	早川 雅子 (留任) 田中喜世美 (留任)		
総務 <2名以内>	早川 雅子 (兼任) 田中喜世美 (兼任)			
	理事 <20名以内>	田中 晃 (留任) 増田 佳恵 (留任) 江上 健 (留任) 相原 延光 (新任) 河原 典子 (新任) 原田 剛 (新任)	江上富美子(退任)	
	監査 <2名以内>	高橋 徳美 (留任) 江上富美子 (新任)	山口 章 (退任)	

名誉塾長	荏本孝久 (留任)	
顧問	荒巻照和 上原美都男 佐藤孝治、 杉原英和 中川和之 山本俊雄 岩楯徹広	
相談役		池田邦昭(退任) 中島光明(退任)